

2022年1月1日から2022年8月31日までに腎臓内科に入院し急性腎障害の治療を受けられた方および入院透析センターにて血液透析を施行した急性腎障害の患者さんへ

研究課題名：急性腎障害症例の腎予後に関する検討

研究の目的と意義：本研究は、急性腎障害のため当院腎臓内科に入院し加療を受けた方や当院入院透析センターにて透析治療を受けた急性腎障害の方に関する入院中から外来診療の臨床データを集約し、腎予後に影響を及ぼす因子を探索する目的で行います。近年、生活習慣病の増加と高齢化に伴い、腎機能が低下している患者さんが増加しています。急性腎障害は早めの対処で速やかに回復する場合がありますが、すでに腎機能が低下している場合には急性腎障害を発症すると腎機能がもとに戻らず、そのまま透析治療が必要になる場合も決して少なくありません。透析導入患者さんの数を減らす上でも、急性腎障害の治療は重要であり、本研究で得られた知見は、今後の急性腎障害治療の発展に寄与する有益な情報と考えます。

研究の方法：2012年1月1日から2022年8月31日までに腎臓内科に入院した急性腎障害および当院入院透析センターにて血液透析を施行した急性腎障害の患者さんを対象とします。

患者さんの診療録から、下記の臨床データを使用させていただきます。

使用するデータ：

診断名、生年月、性別、喫煙・飲酒歴、既往歴、原疾患、合併症、併用薬、身体所見（身長、体重、血圧、心雑音・肺雑音・浮腫の有無）、入院中の血液検査・尿検査結果、心電図、画像所見（胸腹部レントゲン、腹部エコー、胸腹部CT）、病理組織検査結果、治療内容、転帰（腎予後、生命予後）

調査期間：登録時から2032年8月31日まで最大10年間を調査対象とします。

患者さんまたはその代理の方が解析対象となることを希望されない場合は対象から外させていただきますので、下記研究担当者までご連絡ください。ただし、連絡をいただいた時点で既に解析が行われていたり、あるいは研究成果が学会・論文などで発表されていたりする場合には、対象から外すことはできません。ご了承ください。なお、研究に参加されなくても不利益を受けるようなことは一切ありません。

研究期間：許可されてから2033年3月31日まで

研究機関：（研究責任者）自治医科大学附属病院 腎臓内科 秋元 哲

個人情報の保護について：診療録から抽出する情報は、個人が特定できないように、研究責任者が病院IDや氏名等、個人を特定できる情報を新しい符号に置き換えた上で研究に使用します。データは研究責任者が腎臓内科学部門においてパスワードを設定したファイル

に記録し、USBメモリーに保存して、厳重に保管します。なお、研究に使用したデータは研究終了後も新たな研究に用いる可能性があるため、長期間保管します。新たな研究に用いる場合には、改めて倫理審査委員会の承認を得た後、腎臓内科学部門のホームページ等でその旨を通知します。

研究に関する情報公開の方法：あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

情報の公開：学会発表、論文発表で、研究結果を公開する事がありますが、その場合も個人を特定できないようにして報告します。

問い合わせ先

(1) 研究責任者

自治医科大学 内科学講座 腎臓内科学部門
特命教授 秋元 哲
〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-1
電話番号： 0285-58-7346

(2) 苦情申出先

自治医科大学附属病院臨床研究センター管理部
電話番号： 0285-58-8933